

中学生体験事業レポート



平和記念式典で黙とうをする阿久比中学の生徒たち

体験事業を終えた生徒たちは、原爆被災都市広島を見て思ったこと、感じたこと、平和への願いなどを作文にまとめて、全校集会で発表しました。そのうちの一編を掲載します。

心が痛み悲しい 気持ちになりました

平和体験事業に参加して

一年五組 横井 僚介



僕たち一年生八人は、原子爆弾の落とされた広島市に八月五日、六日と行き、平和体験活動を行ってきました。

世界初の原子爆弾投下から六十一
年たった今でも、平和記念式典に参加するため、多くの方々が平和記念公園に来ていました。式典で泣いている方を見たときは、とても心が痛んだし、悲しい気持ちにもなりました。

国立広島原爆死没者追悼平和祈念館では、原爆投下のすぐ後に撮った爆心地付近の町の写真や原爆死没者の遺影が公開してありました。爆心地付近の写真を見たときは、原爆は

ここまで町を変えてしまうのかと思
い、とても悲惨な気持ちにもなりま
した。

僕たちに話を聞かせてくださった
中西さんは、原爆の落ちた直後に気
絶し、爆風に巻き込まれたそうです。
気が付いたときには、広島町はも
う火の海で、たくさんの人々が助け
を求めたまま、亡くなっていったそ
うです。

この広島で学んだ原爆の恐ろしさ
や、平和運動などは、もつとたくさ
んの人に知ってもらわなければいけ
ない事で、すごく大切な事だと思
います。そして、その事実を知った上
で、平和を強く願う気持ちがみんな
にあれば、平和は全世界に広がって
いくと思います。



平和記念公園に納めた千羽鶴

広島平和体験事業参加者

鎌田 一輝	横井 僚介
渡邊 徳士	竹内 紀栄
小笠原 沙映	竹内 麻里子
高木 優希	新美 桃子

(敬称略)